

会 議 録

1 会議名	平成19年度第5回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成19年11月27日(火) 午後2時30分～午後4時
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター2階会議室
4 出席者	【委員】江連俊, 手塚敏子, 沼田良, 古橋悟一, 江連功, 小嶋耕一, 齋藤和之, 佐藤きよ子, 塩井洋子, 柴田征男, 古橋正好, 松田仁一, 和田春海, 大木清茂, 小野三朗, 北見幸夫, 佐藤和男 【事務局】上河内地域自治センター所長, 参与, 地域経営課長, 地域経営課主幹, 地域経営課長補佐 ほか11名
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	【傍聴者】なし 【記者】なし
7 会議経過	1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 ・地域のまちづくりに関する施策について 4 その他 5 閉会

議 事	
3 協議事項 地域のまちづくりに関する施策について	
会長	・地域のまちづくりに関する施策について議題とする。事務局より説明願いたい。
事務局	・本市は、平成16年11月に策定された市民協働推進指針により市民協働のまち「うつのみや」を目指している。市民主導によるまちづくりに馴染んでない本地域に「市民協働のまちづくり」を推進するためには、他地域で取組まれている地域まちづくりの現状を把握した中で検討しなければならない。一方自治会等においては、伝統行事をはじめ自治公民館活動による地域づくり事業等が自主的に展開されており、これらをうまく融合させ魅力あるまちづくりを進められるよう検討しなければならないと考える。また、まちづくりの母体となる組織づくりも今後の課題となる。まちづくりの提案については、よりよい地域を目指すための課題を抽出し、短期、中期、長期的に取組めるよう整理していきたい。また、現在の行政主導で実

<p>会長</p>	<p>施されている地域イベントについても検討していきたいと考える。提案時期については、地域の現状における課題を今年度中に整理し、次年度中に施策の提案について検討し、2月を目処に提出できるよう進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの施策の提案について、今後、どのような方向で考えていくかを本日は検討していきたい。事務局の説明に何か質問はあるか。</li> <li>・特にないようなので事務局案のとおり進めることでよろしいか。</li> </ul> <p>(「異議なし」の声あり)</p>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組みにあたり、各グループが宇都宮市の各地域におけるまちづくりについて、研修を行っているので、グループ別に調査内容を報告願いたい。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起草グループは11月21日富屋地区市民センターで研修を行った。富屋地区におけるまちづくり組織は、自治会など49団体で「まちづくり連絡協議会」が設立され、組織は5つの専門部会で構成されている。組織の特徴として、地区の将来像を描いた5つの目標を柱に、持続可能な地域づくりをめざしている。事業としては地域独自の「まちづくり懇談会」を開催し、地域の課題について話し合いが持たれている。地域交流の一環として「とみやふるさとまつり」等が地区市民センターの支援により開催され、自主的な活動の下、広報誌が年4回発行され地域に情報を提供している。感想として当地区においても市民協働のまちづくりを推進するためには、住民自らが課題解決や地域振興事業に取り組むまちづくり組織が必要であると感じた。また、地域の特性を生かしたまちづくりをするためには、自治会議が地域住民の意見を集約し、市民協働に反映できるような解決策を高める議論が求められる。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査グループは11月19日瑞穂野地区市民センターにおいて研修を行った。まちづくり組織は平成15年に、従来の地域で主体として活動していた任意団体等を取り込んで「瑞穂野まちづくり協議会」を立ち上げた。組織は当時、市が一体的に進めていた指針に基づいた形で作られ、平成18年にはリサイクル部会も加わり7つの専門部で構成されている。事業は、「まちづくり研修会」の開催やNPO法人が関連した「みずほの自然の森公園」を中心としたまちおこしが行われている。ホームページについては、当初作成に必要な専門</li> </ul>

委員	<p>的な知識を持った会員によって開設され、その後継続的に地区市民センターの支援を受けながら、地域の情報を内外に提供している。なお、地域イベントについては各種団体が担っているようだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報グループでは11月21日に国本地区市民センターにおいて研修を行った。国本地区は、昭和46年から地域の振興を図るための組織「国本地区づくり振興会」があり、平成15年にまちづくり組織に移行した。組織は7部会から構成されている。主な事業として、スポーツ大会や日光まで33キロを歩くチャレンジウォーク等を開催しており、事業は各種団体が主体となって実施している。また、各部会の連携を密にするために、まちづくり連絡会を随時開催している。負担金は自治会連合会が自治会を通じて各戸から徴収しているので、当地区にまちづくりを組織した場合、運営に必要な地元負担金に対しどのように理解してもらえかが問題となるのではないかと等の意見があった。以上のとおり報告する。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3地域ともまちづくり組織が母体となって、特色を持ったまちづくりを実施している。本地域は組織自体が未整備なため、組織づくりを含め今後のまちづくりをどのようにしていくか、意見をもらいたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3地域と比べて、現在の上河内地域の状況が理解できたと思うので、今後どのようなまちづくりをしていくか、意見を聞かせてほしい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり組織をどのように立ち上げるべきか心配をしていたが、他地域の説明を聞くと行政側が作った組織づくりの基本型があるようなので、これを基にこの地域の特色を組み込んだまちづくり組織をつくってはどうか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でのまちづくり組織を考える前に、いかに定住人口を増やし、住んで良かったと思える地域にしていくかを考える方が先ではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの施策を考えるにあたり、各地域から学ぶべきことは多い。今回の研修は、地域性を考え研修地を選定させてもらったが、別の地域も研修していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容を見ると旧上河内町と同様なイベントが実施されているようだ。マンネリ化を防ぐためにも多様化している地域ニーズに応えられるNPOの活用や若い人がまちづくりに参加できるような仕組みづくりが必要である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料で「本市が推進している市民協働のまちづくりを上河内地域にスムーズに導入するため」と記載されているが、旧宇都宮市におけ</li> </ul>

事務局	<p>る市民協働まちづくりのモデルとした事業等を導入するのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルとした画一化したものを導入するというのではなく、市民と行政がキャッチボールを行いながら地域を考えていく、市民協働という考え方を導入することを考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を通して感じてきたことは、良い地域を自らつくりあげるために、負担するものは負担するといった考え方が市民協働なのかと感じた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良い地域を作りあげるためには多くの市民参加が必要であることから、異なった部門の方の意見も取り入れるため、会議を夜間や休日に開催するなどの配慮も必要ではないか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり組織において作成されている地域機関誌は、地域イベントやまちづくりの取組みが紹介され、地域住民の結びつきや共通理解を持つうえで非常に重要な役目を担っていると感じた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3地区のまちづくり組織を見ると、事業の実施にあたり各部会とそれを構成している各種団体の連携に調整が必要と感じた。本地域で型どおりの組織を立ち上げた場合、地域の振興のためにうまく機能しないのではないかと不安がある。また、自治会議が進むべき道は、今後まちづくり組織を立ち上げることが本来の目的ではなく、地域を活性化させた魅力あるまちづくりを目指すべきではないのか。地域の将来を見据えた場合、我々の任期は2年であるが、自治会議は10年続くので継続した考え方が必要であり、そのような立場で物事を判断していかないと地域の希望に応えることは出来ない。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住んで良かったと思える安全で安心な地域づくりを進めるには、地域住民の意見を集約するとともに、その中から課題を抽出し課題解決をするための方策を検討しなければならない。住民と行政の協働とは何か。自分たちの地域は自分たちでつくって行くという立場で課題を見つけてほしい。各委員は12月10日前後までに考えられる課題について事務局に提出してもらいたい。その後、各グループ会議において課題を整理していただいたものを、次回の自治会議で協議していきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回会議までに、他の地域におけるまちづくりの状況を研修できないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮市に限らず、全国の特色あるまちづくりについて、あらゆる機会を捉えて勉強してほしい。きょうの会議では組織づくりが先行し、優先的に取り組むべき課題についてまだまだ議論が不足していると思う。今後は地域の課題を絞り込んでから、まちづくりをどうす</li> </ul>

<p>会長</p>	<p>るか検討し，その後に効果的な組織づくりを考えるべきではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日各グループからの研修報告は，今後のまちづくりを検討していくうえで非常に参考となる内容であった。今後は，地域の抱える様々な課題に対し，地域が自主性と創意により，適切に対応できる仕組みを目指すため議論していきたい。</li> </ul>
<p>4 その他</p>	
<p>会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「4 その他」に移るが，事務局では何かあるか。</li> <li>・市においては，現在第5次宇都宮市総合計画を策定しており，その概要案の説明と，これからのまちづくりについて意見交換を行う「みや・未来トーク」が11月29日に田原コミュニティプラザにおいて上河内地域，河内地域を対象に午後6時30分から午後8時まで行われるので是非参加願いたい。また，当地区においてまちづくり懇談会が来年2月8日に開催が予定されている。地域で抱えている課題について各自治会から意見を集約することになる。まちづくりに関する意見もあるため参加願いたい。</li> </ul>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上をもって，第5回宇都宮市上河内自治会議を終了する。</li> </ul>